



丹那小だより

函南町立丹那小学校
令和4年7月発行

「自尊感情を高める自然体験活動・オール丹那共有体験」

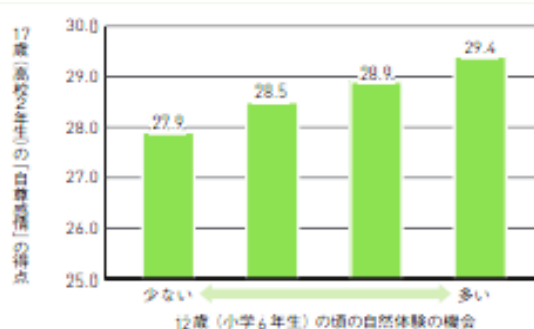
校長 土屋 貴俊

6月14・15日の2日間、3年ぶりに4・5年生で宿泊を含めた自然教室を実施しました。新型コロナウイルス感染症の状況が、まだまだ予断を許さない状態が続いていますので蜜を避け、こまめに消毒をして、感染症に十分に配慮しての活動となりました。

真鶴海岸では子供たちが捕まえた磯の生き物を、博物館の学芸員がそれぞれ解説してくれました。いつも校内で生き物を捕まえている子供たちですが、場所を変え海の生き物に目を輝かせながら「見て見て、こんなところにウニがいるよ」、「すごいね」、「捕まえられるかな」などと楽しく弾んだ声を海に響かせていました。



先日、文部科学省の調査結果で小学校のときに野外での活動（キャンプ、山登りやハイキング）や虫捕り、農作業（野菜や果実の栽培や収穫）等自然体験をたくさんした子供は、高校生になったときに自尊感情が高い傾向が見られるという報告がありました。また、小学生の頃に異年齢（年上・年下）の人とよく遊んだり、自然の場所や空き地・路地などでよく遊んだりした経験のある高校生も上記と同様の傾向が見られたとのことでした。



さて、自尊感情はなぜ大切なのでしょう。それが高い傾向の子供は自分の置かれている立場、生活、能力、運命などを正しく把握し、それを肯定的に受け止めることができます。そのため、違った価値観をもつ他者を受け入れられるようにもなります。また、新たなことにも挑戦し、最後までやり抜く気持ちも生まれます。逆に低いと自信がないために他者と比べたがり、他者を否定することによって自分を正当化しようとする行動や

R2 文科省青少年自立支援プロジェクト資料より

言動がみられるようになるとのことでした。

本校では、このような自然体験や異年齢で遊ぶ機会がたくさんあります。自尊感情が高まることで主体的に考えたり、協働したりする気持ちが育つことを願っています。

また、地域の皆様と協働しながら「多様な自然体験やオール丹那の共有体験を土台とした子供の成長を支える環境づくり」を進め、よりよい社会の担い手の育成をめざします。

10月に実施予定の学校保健委員会では、日本ウエルネス大学教授の近藤卓氏を講師にお招きし、「家庭での共有体験と子供の自尊感情」について講話をしていただくことになっています。家庭でもすぐに実践できる内容です。奮ってご参加いただくとありがたいです。よろしくお願ひします。



「世界遺産 反射炉前で集合写真」

行事が順調に進んでいます！

コロナ感染症に最大限の注意を払いながらではありますが、6年生の葦山史跡巡り&4・5年生の自然教室が計画通り実施できました。友達との共有体験は、学校生活に潤いを与えます。一人での体験よりも何倍もの喜びを味わうことができます。苦しいことも友達がいるから乗り越えられます。そんな経験をたくさんすることのできた6月でした。

4・5年生は桑村小との合同自然教室で、新しい友達がたくさんできました。

また、3年ぶりの水泳指導も順調に進んでいます。水に慣れるところからゆっくりと始めていますが、低学年は、浮いたり潜ったり、中高学年はクロールの泳ぎを練習して少しでも長く泳いだりすることに頑張っている様子です。



「自分たちで作ったカレーは最高の味！」



水泳の学習は、まずは水を怖がらずに身体を浮かすこと。命を守るための学習です。

7・8月の教育活動

- 8日(金) 交通安全を語る会 5校時 5・6年
- 13日(水) ~15日(金)
保護者面談 下校 14:20
- 13日(水) 防災連絡会議
- 19日(火) リレー練習
- 22日(金) 朝会 普通日課 3時間 11:20 下校
授業終了

23日(土) ~8月24日(水) 夏季休業

【8月】

- 25日(木) 朝会 普通日課 3時間 11:20 下校
授業開始
- 26日(金) 普通日課 4時間 13:10 下校
給食開始 2年5校時切
- 29日(月) 身体測定週間



13日(水) ~15日(金) まで保護者面談を実施します。暑い中、またお忙しい中ですが、御協力をお願いします。

函南町青少年健全育成大会 主張発表

「学校に夢を」のテーマで今年度から新しく立ち上がったTDS(夢)委員会の取組を

村田空色さんが主張発表を行いました。自分たちの学校を夢の学校に近づけるために、やり甲斐を感じていることが生き生きと発表され、思いの伝わるとても立派な発表でした。



PTA 施設部と Dream サポーターの皆さんによる駐車場の整備作業を行いました。草を刈り、砂利を敷いて皆さんが安全に快適に駐車場を利用できるようにしていただきました。暑い中でしたが、作業を行ってくださった皆さん本当にありがとうございました。